

特集

医療事故調査制度と 看護管理者の役割

将来の安全な医療を目指して

医療事故の原因究明と再発防止を図ることを目的に、2015年10月に「医療事故調査制度」が開始してから約2年半が経過し、徐々に事例が重ねられつつあります。本特集では、「予期せぬ死亡事例」を対象とした同制度の概要やこれまでの成果、医療事故調査の必要性についての考え方を共有し、看護管理者の具体的な経験および取り組みに学ぶことで、今後の医療安全体制の構築につなげていきます。

医療事故調査制度の目的と看護管理者への期待 ● 畑涼子

再発防止の議論から考える看護管理者の役割 ● 荒井有美

医療事故調査が現場で活かされるために ● 永井弥生

事故調査を支援する看護学術団体としての取り組み ● 佐藤紀子

医療事故調査制度および看護管理者への期待 ● 熊谷雅美

医療事故調査制度への対応と医療安全の構築

産科病棟看護師長としての取り組み ● 森田知子

調査支援看護師の仕事 ● 森山仁美

巻頭

大学院で学ぶ看護管理学

現場の実践から新たな「知」を生むために⑩

宮城大学大学院

編集後記

▶ 本特集では「レジリエンス」を取り上げました。2017年の日本看護管理学会でのシンポジウム「変化の時代を生き抜く、しなやかな看護職の創造—レジリエンスを高めるために」に端を発した企画で、学会当日は立ち見も出る中参加者の皆さんが熱心に聞き入っていたのが印象に残っています。取材をする中で以前にも流行った言葉というような話も耳にしましたが、今の時代こそ必要な概念だということからこの特集では解説しています。多義的で幅広い解釈のある言葉ですが、個人としてへこたれない、組織として支えて「しなやかな組織」となるためのアプローチを取り上げておりますので、ぜひ新しく師長となった方や、全体を見る立場の方まで幅広く手に取っていただきたいと思います。▶ 先日“ブルベ”という自転車でチェックポイントを巡りながら200kmを走るというイベントに参加し、なんとか完走しました！なぜそんなことをやるのかと言われますが、事前の準備から当日のトラブル対応など、大小のPDCAサイクルを繰り返してクリアする達成感は格別でした。

(石塚)

▶ 皆さまが初めて「レジリエンス」という言葉を認識されたのはいつ頃でしょうか。私個人はポジティブ心理学について調べ始めた2012年頃と記憶しています。この編集後記を書くにあたり、弊社の電子ジャーナルシステム「メディカルファインダー」で「レジリエンス」のキーワードで検索したところ約230件の文献がヒットし、タイトルに「レジリエンス」が含まれる最も古い看護系の文献は、2007年に報告された患者さんの抗病力を高める看護的支援に関する研究でした。▶ 近年、産業心理学や組織開発、人材育成の分野において組織メンバーのレジリエンスを高めることに注目が集まっています。さまざまなアプローチが存在していますが、本号の特集では、問題解決技法を組織の共通言語として、メンバーが協働して解を求めることにより、組織とそこで働く個人のレジリエンスを高めるアプローチをご紹介します。私自身、困ることを恐れず、困る力を高めて表出・共有しようという平林さんのメッセージに力をもらいました。ご参考にしていただければ幸いです。

(小齋)

看護管理 第28巻第4号

2018年4月10日発行（毎月1回10日発行）

発行 株式会社医学書院

代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2018, Printed in Japan

定価 本体1500円＋税

2018年年間購読料

冊子版 本体16920円＋税

冊子＋電子版/個人 本体19920円＋税

電子版/個人 本体16920円＋税

(いずれも送料弊社負担)

『看護管理』編集室（担当：小齋、石塚、伊藤）

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

[年間購読のお申し込み先]

医学書院販売部 TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は、株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】（出版者著作権管理機構委託出版物）複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構の許諾を得てください（TEL03-3513-6969 FAX03-3513-6979 info@jcopy.or.jp）。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された[0917-1355/18/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPY]は、1論文1回複製の料金を明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

*「看護管理」は、株式会社医学書院の登録商標です。

facebook, twitter やってます！

facebook アカウントをお持ちの方は「医学書院『看護管理』」で検索していただき、「いいね！」をお願いします。

twitter アカウントは、@kangokanri です。合わせてフォローをお願いします。